



## 3Rを通じた持続可能な資源循環

我が国の3Rの制度・技術・経験を国際的に展開しつつ、更なる高度化に取り組むとともに、地球温暖化対策への貢献、G8での3Rイニシアティブの推進を図ります。

3Rとは、ごみを減らし(Reduce)、使えるものは繰り返し使い(Reuse)、ごみになったら資源として再利用(Recycle)する取組

### アジアでの循環型社会構築に向けた取組

国際的な循環型社会を構築するために、

- ① まず各国の国内で循環型社会を構築し、
- ② 廃棄物の不法な輸出入を防止する取組を充実・強化し
- ③ その上で循環資源の輸出入の円滑化を図ることが必要。

- ◆ 日本の3R・廃棄物管理の先進的な制度、優れた技術・システム、各主体の取組と連携の経験を各国に発信
- ◆ 3Rの情報拠点の構築
- ◆ 「東アジア循環型社会ビジョン」の策定



### 3Rの技術とシステムの高度化

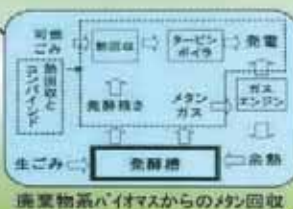
日本の3Rの技術・システムに更に磨きをかけるために、

- ◆ 製品のライフサイクル全体での天然資源等投入量・環境負荷の最小化
- ◆ バイオマス重視の「地域循環圏」の形成、地域での循環が困難な物質について、広域・国際的な資源循環 3Rの情報拠点の構築
- ◆ ごみ処理の有料化など、「もったいない」の気持ちを活かす社会経済システム

### 3Rを通じた地球温暖化対策への貢献

3Rを通じて温室効果ガスを削減すべく、

- ◆ 廃棄物発電の促進など廃棄物からのエネルギー回収の徹底
- ◆ 廃木材や生ごみからのエタノール生産など、廃棄物系バイオマスの有効活用



### 日本提唱の3Rイニシアティブの推進

2004年6月 G8シーアイランドサミット(米国)  
3Rの国際的な推進を図る「3Rイニシアティブ」を日本が提案し、各国首脳が合意。

05年4月 3Rイニシアティブ閣僚会合(東京)

06年3月 3R高級事務レベル会合(東京)

2006年7月 G8サンクトペテルブルクサミット(ロシア)  
3Rイニシアティブを更に進めるために、G8各国が、資源生産性を考慮した目標を適宜設定することに合意。

07年10月 3R高級事務レベル会合(ドイツ・ボン)

08年 G8環境大臣会合(神戸)

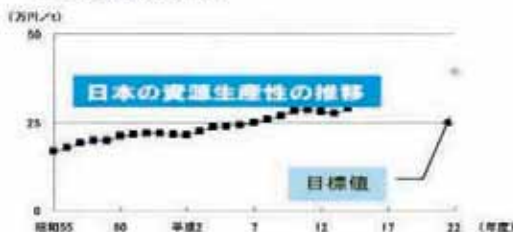
2008年のG8北海道洞爺湖サミットに向け、G8各国が資源生産性の目標を設定し定期的にレビューするなど、G8における3R推進方策を日本が提案。

さらに、UNEP「天然資源の持続可能な利用に関するパネル」やOECDの関連作業を支援

### 日本は他国に先駆けて資源生産性の目標を既に設定

資源生産性 = GDP / 天然資源等投入量

資源生産性は、産業活動や人々の暮らしがモノを有効に利用しているかを総合的に表す指標。数値が大きいくほど、少ない資源の投入で効率的にGDPを生み出すことを意味する。



循環基本計画(平成15年3月閣議決定)の目標値: 2010年度に約39万円/t (2000年度から概ね4割向上)

日本の資源生産性は世界トップレベル

日本がG8の先頭に立って3Rを推進